

## ＜教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析＞

<p>国語の調査結果にみられる特徴と現状</p> <p>全ての領域において全国平均を上回っている。特に「読むこと」の領域で大きく上回っているのは、毎日取り組んでいる朝読書や、語句の意味調べにより、語彙力が高まっているからであるといえる。</p>	<p>数学の調査結果にみられる特徴と現状</p> <p>全ての領域において全国平均を上回っており、領域では特に「関数」が大きく上回っている。中でも「活用」に関する問題や「記述式」の問題における全国との相対値が高く、また記述の問題での無回答率はかなり低い。このことから、普段の授業において他の人へ説明することの習慣がついてきていることがうかがえる。</p>	<p>英語の調査結果にみられる特徴と現状</p> <p>全ての領域において全国平均を上回っている。特に「書くこと」及び「記述式」の領域においては、授業内において自らの考えを述べる機会を設け、表現する力を高めたからだと考えられる。</p>
--	---	--

## ＜質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析＞

<p>学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状</p> <p>学級活動、職場体験などで将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしており、将来の夢や目標を持っている生徒が多いことにつながっていると考えられる。授業では課題解決に向けて自ら考えさせる指導をしており、生徒もその実感を得ている。一方で学級をより良くするための話し合いや取り組みを設定しているものの、それによって達成感や成就感を得ている生徒は7割程度で、全国に比べて低い結果となっている。その他「地域の人材施設の活用」「個に応じた指導」には去年に引き続き力をいれている。授業においてICTを活用する頻度は他の学校に比べ少ないため、場面に応じたICTの活用方法について職員で共有し、授業展開の手法の幅を広げていく必要がある。</p>	<p>生徒質問紙調査の結果にみられる特徴と現状</p> <p>自尊感情は75%が良好な回答をしており、将来の夢や目標を持っていると回答した生徒は7割以上であった。教師との関係も75%良好であるが、25%の生徒は先生に良いところを認めてもらっていない感覚を持っているため、生徒の良さを認め伝えていく必要がある。人のためになりたいという気持ちを持つ生徒は多くいる一方で、自身が所属している集団への興味関心は低く、集団に貢献しようとする生徒は多くないことがうかがえる。学習面では、毎日2時間以上学習すると回答した生徒は半数近くおり、学習習慣ができている生徒が多い。授業では課題を解決するために主体的に取り組む気持ちも見られ、話し合い活動の必要性を感じている生徒も多い。</p>
---	---

## ＜改善策・検証方法＞

<p>改善目標</p> <p>(国語) 「話す・聞く能力」を高める。</p> <p>(英語) 「聞くこと」の力を高める。</p> <p>(数学) 「説明する力」をつける。</p>	<p>改善方策 (どのような取組をいつ・どの程度行うか)</p> <p>(国語) 国語の授業において、目的意識・場面意識・相手意識をもって話す場面を多く設定していく。小グループでの学び合いを通して、説明したり質問したりする力をつけていく。道徳や学活等の時間においても、意見を交流しやすい人間関係作りをしていく。</p> <p>(英語) 英語の授業において、Classroom Englishの充実を図る。具体的には、文法等の難しい説明や生徒が理解していない場合の日本語による説明以外は、英語での授業展開を心がける。また、帯活動での言語活動を通して、英語による「聞くこと」の頻度を増やしていく。</p> <p>(数学) 授業の中で、「他の人へ説明する」場面を設定する。また生徒が学習課題を設定できるよう素材を工夫し、対話する必要性を作り出す。授業の最後には毎時振り返りを記入することで、学んだことを言葉で整理する習慣をつける。</p>	<p>検証方法 (いつ・どのように検証・評価するか)</p> <p>(国語) 聞き取りテストや、スピーチの際の自己・相互評価表などを活用し、検証していく。</p> <p>(英語) リスニングテストでの数値での評価や言語活動内でのやりとりを通して、検証していく。</p> <p>(数学) 実力テストや到達度テストの結果及び授業内でのグループ学習の様子、振り返りシートの記入内容から評価・検証していく。</p>
---	--	---

備考